

平成26年度 地域密着型金融推進計画進捗状況(平成26年10月～27年3月)

遠州信用金庫では、お客様への日常的・継続的な訪問活動を通じて、地域密着型金融の一層の推進を図るため、基本方針を定め、本年度は以下の3大項目を基本方針として活動してきました。

I. 基本方針

- ① 金庫経営の基本であるCS(お客様満足度)の向上に結びつけた地域密着型金融推進活動に全役職員で取り組みます。
- ② 地域の情報をお客様の繁栄および地域の活性化に繋げ、ひいては当金庫経営力の一層の強化を図ります。
- ③ お客様および地域のニーズに応えられる人材を育成します。

I. 取組方針ごとの進捗状況

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

以下のライフステージに応じた最適なソリューションを提案しました。

① 創業・新事業開拓を目指すお客様

- ・ 創業を目指す個人に経済産業省創業補助金申請書の作成支援を実施しました。
申請書作成支援件数 10件 採択件数10件(採択率100%)
- ・ 新事業開拓を目指す企業に経営革新承認の支援を実施しました。
認定件数 3件
- ・ 創業、新事業展開を目指す企業等に制度融資や独自商品による融資を実行しました。
34件 637,620千円

② 成長段階で事業展開を図るお客様

- ・ 下記のビジネスフェアへの参加を支援しました。
- | | | | |
|-----------|------------------|-------|-----|
| 10月15日 | ビジネスマッチング静岡2014 | 出展事業所 | 2先 |
| 10月25日 | 第7回三遠南信信金サミット | 出展事業所 | 15先 |
| 11月12・13日 | 信金発!地域発見フェア | 出展事業所 | 1先 |
| 11月19日 | 富士山東北海道ビジネスマッチング | 出展事業所 | 2先 |

③ 経営改善が必要なお客様

- ・経営支援先に対し、中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業(ミラサポ)、浜松商工会議所、静岡県商工会連合会、静岡県信用保証協会等の専門家派遣制度を活用し、経営課題を特定し、経営改善支援を17件実施しました。
- ・また、経営支援先の27先に対し、静岡県経営改善支援センターと連携し、経営改善計画策定等の支援を実施しました。

④ 事業再生や業種転換が必要なお客様

- ・事業再生が必要な取引先に対し、事業の一部売却などの提案を行い、実施に至りました。また、地域経済活性化支援機構(REVIC)やコンサルティング会社との連携により、抜本的な再生計画を検討しました。

⑤ 事業の持続可能性が見込まれないお客様

- ・事業の持続可能性が見込まれないお客様に対し、事業の方向性や将来性について助言や相談を実施しました。

⑥ 事業承継が必要なお客様

- ・静岡県事業引継支援センターと連携を図り、事業譲渡関連情報を発信しました。
- ・M&A案件定期情報を法人営業スタッフと共有し、提供に備えました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

① 観光を中心とした地域資源の発掘・情報発信、町づくりネットワークの構築・連携

- ・地域資源を発掘し、情報発信するための「遠州・浜名湖魅力発信サイト」において、観光コース、見る・食べる・遊ぶなどのカテゴリー別に情報を発信しました。

情報掲載件数 168件

- ・各観光団体・行政機関と連携し、当庫のゆるキャラ活用によるイベントPR・ブース出展・スタッフ派遣を通じて地域活性化のお手伝いをするとともに、ネットワークづくりを支援しました。

② 地域顧客への情報発信

- ・特定非営利活動法人静岡県西部地域しんきん経済研究所と連携し、「しんきんパートナー」「景況レポート」等金融経済動向等の情報を提供しました。
- ・えんしん経営者クラブ会員企業を中心に、経営情報・補助金情報・ビジネスフェア開催等の情報を定期的に発信しました。

③ 地域を担う若い世代への金融知識の普及

- ・1月14日および19日の計2回、当金庫職員が講師となり、国際観光専門学校浜松校の学生を対象に授業を行いました。講義内容は、「ビジネスマナー」および「20代のライフプラン」で50名の学生が参加しました。
- ・2月6日に当金庫職員が講師となり、取引先社員を対象に講義を行いました。講義内容は、「お金にまつわるライフサイクルについて」で、100名が参加いたしました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

① 地域密着型金融への取組みに対する情報発信

- ・平成26年度上期地域密着型金融推進計画の進捗状況についてHPIに掲載しました。

Ⅱ. 重点項目実施のための人材育成状況

①課題解決、目利き力を有する人材を育成するためのカリキュラムを作成し研修を実施

- ・ 1月27日に当庫職員が講師となり、「業種別の目利きポイント」「訪問におけるマナー」を題材とする研修を行い、25名が参加しました。
- ・ 2月12日および17日に事業所開拓実践訓練を行い、13名が参加しました。
- ・ 2月7日および21日に当庫職員が講師となり自主勉強会を行いました。内容は「中小企業財務の特徴と目利き力ポイント」「決算書の読み方」「SWOT分析」「法人融資推進」で渉外係39名が参加しました。

②各種コンサルティング知識、中小企業施策等の勉強会を開催

- ・ 9月19日 経営情報会議にて静岡産業大教授および取引先代表者を講師として6次産業化支援のポイントと先進的取組事例について勉強会を実施しました。
- ・ 12月17日 日本政策金融公庫担当者を講師として、公庫制度の概要と活用のポイントについて勉強会を実施しました。また、業者による電気・ガス自由化に向けた支援取組について勉強会を実施しました。

④ 営業力の向上とコンサルティング能力の強化を目的とした勉強会を実施

- ・ 融資専担者会議を2回開催し、事例を基に農業および観光事業への提案型営業によるセールス技術の向上を図りました。
- ・ 融資専担者および渉外担当役席を対象に業種別ビジネスモデルの研修を実施し、知識の習得とスキルアップに努めました。
- ・ 第4ブロックにて事業所開拓実践訓練を実施し、ビジネスモデルを活用した提案型営業のスキルアップを図りました。
- ・ 東海地区融資事例発表会参加者による研修会を実施し、中堅以上の渉外者に対しビジネスモデルの知識習得を行いました。

④継続的なモニタリング、経営相談、指導といったコンサルティング機能発揮のため、経営相談・経営指導の知識を持つ職員の育成

- ・営業店支店長を対象に、中小企業再生支援全国本部による「経営改善計画策定研修」を開催し、問題点の発掘と対応策の仮説を立てるといった経営改善計画策定に係るプロセスを体得するための実践的な研修を実施しました。その結果、13件の経営改善計画を策定しました。
- ・外部専門家を活用し、「経営支援」自主勉強会を支店長および渉外担当者・融資担当者を対象に実施しました。

Ⅲ. 数値目標達成状況

○地域密着型金融推進計画に係る平成26年度数値目標に対する進捗状況

項目	目標(年間)	実績(年間)
経営革新計画承認支援件数	10件	10件
外部専門家活用件数	50件	67件
金庫ホームページ上での地域観光情報の発信件数	200件	285件